

ウ 公務員女性獣医師の就業現場の現状と課題

茨城県県西家畜保健衛生所 防疫主査 前田育子

【はじめに】

平成 25 年 9 月、公益社団法人日本獣医師会は、女性獣医師の就業支援を行うために、女性獣医師支援特別委員会を設置した。委員会では、女性獣医師の就業支援を具体的かつ実効性のあるものとするため、「獣医師の就業環境等に関する現況調査」を行い、勤務環境の現況の把握と就業推進対策、職場環境等の改善対策について検討してきた。

私は、茨城県職員として 27 年間家畜衛生行政に従事し、今回、公務員女性獣医師の立場で本委員会に参加している。本シンポジウムでは、現況調査の結果と自らの経験を踏まえ公務員女性獣医師の就業現場の現状と課題について報告する。

【公務員女性獣医師の現状】

公務員獣医師は、国家公務員、都道府県職員、市町村職員の獣医師のことであり、家畜衛生行政や公衆衛生行政に携わり、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫、BSE をはじめとする家畜伝染病の予防・まん延防止、動物や人の健康保護、食肉の安全確保のための食肉検査、狂犬病等の予防、食品衛生監視・指導など幅広い分野で活躍し、その業務は急速に拡大、多様化するとともに社会的重要性が高まっている。

平成 24 年末の獣医師法第 22 条の届出によれば、獣医師免許保有者 38,293 人のうち約 24% の 9,309 人が公務員獣医師であり、さらに、その約 30% の 3,111 人が女性獣医師である。

また、現在、公務員獣医師の 20 代、30 代の若い世代では、女性獣医師が約半数を占め、獣医学の在学者の半数が女性であることからも公務員女性獣医師はさらに増えると考えられる。

【公務員女性獣医師の就業等に関する現況調査の結果】

本調査では、公務員女性獣医師の約 27% にあたる 846 名から回答があった（総回答数は 4,371）。そして、公務員女性獣医師が望む就業を継続しやすい環境、復職しやすい環境を明確にするために、公務員女性獣医師が抱えている不安と、現在、実感できている支援や制度、今後必要な支援や制度についてまとめた。

(1) 公務員女性獣医師が抱えている不安

公務員女性獣医師は、労働時間の長さや休暇の取りにくさ、仕事と育児の両立に不安を感じている割合は約 20% と低く、労働環境は配慮されている状況が明らかとなった。

しかし、知識や経験の不足からくる仕事への不安や給料が安いと感じて

いる割合は約50%と高かった。

(2) 公務員女性獣医師の就業支援の実態

公務員女性獣医師は、出産休暇、育児休暇、子育て支援の制度が十分整備されていると感じている割合は約80%と高かった。

しかし、肉体的負担を軽減する作業補助器具等の整備、出産休暇・育児休暇取得者の代替職員の確保、休業からスムースに復帰できるための研修等の充実、休業中も職場の動きや情報が得られるような仕組み、子育てと仕事を両立しているモデルケースの紹介については、約80%が不十分を感じていた。

【公務員女性獣医師の就業現場の課題】

公務員は、育児休暇等の制度が整っており、就業を継続しやすい環境にある。しかし、獣医師の場合、休暇中の代替職員の確保が難しく、他の職員の負担が増えることを申し訳なく感じ、制度を利用するに躊躇するケースもある。代替職員の確保対策（定年退職者の活用、獣医師バンク、公務員獣医師の募集年齢の撤廃、年度複数回の採用試験の実施、定員+ α の採用）は急務であり、対策が整備されてこそ生きた制度となる。

また、技術、知識、経験の遅れが生じることへの不安から制度を最大限（3歳まで育児休業取得可能）活用せず復帰時期を早めるケースもある。休業中のブランクを埋めることができる研修の実施や、情報の提供で不安無く職場復帰できるような支援が必要である。

【まとめ】

公務員女性獣医師が常に「自信と誇り」を持って継続して就業していくためには、段階的な支援を行う必要がある。

第一段階として、女子学生を対象にした公務員女性獣医師（子育て中の職員、管理職）による就職説明会の開催が必要と考える。また、5年前、インターンシップで女子学生を受け入れた際、公務員は、女性獣医師が長く働きやすい職場であることをじっくり話したことがあった。現在、その女子学生は、家畜保健衛生所で勤務し、昨年、結婚をしたところである。このように、大学での就職説明会やインターンシップ制度を活用し、公務員女性獣医師の生の声を学生に伝え、就業現場を理解したうえで就職を決める際の一つの選択肢としてももらえばと思う。

第二段階として、育児休暇等の制度を利用する公務員女性獣医師が、「やる気」を持って就業できるように、配属、仕事の配分、評価、昇進、研修の機会が平等に提供される環境作りが必要である。

そして、第三段階として、公務員獣医師が食の安全確保や、動物や人の健康保護等において重要な役割を果たし、高度な専門知識や技術の研鑽が必要な職業であることに対する国民の理解の醸成、社会的地位の向上と処

遇の改善のための対策が必要である。

先日、新聞に、「リケジョ」「ドボジョ」「けんせつ小町」など、これまで男性が中心的な役割を担ってきた分野に従事する女性を応援する動きが活発との記事があった。我々も、「獣医女（ジュウイジョ）」として社会へアピールして同様に応援してもらいたいものである。

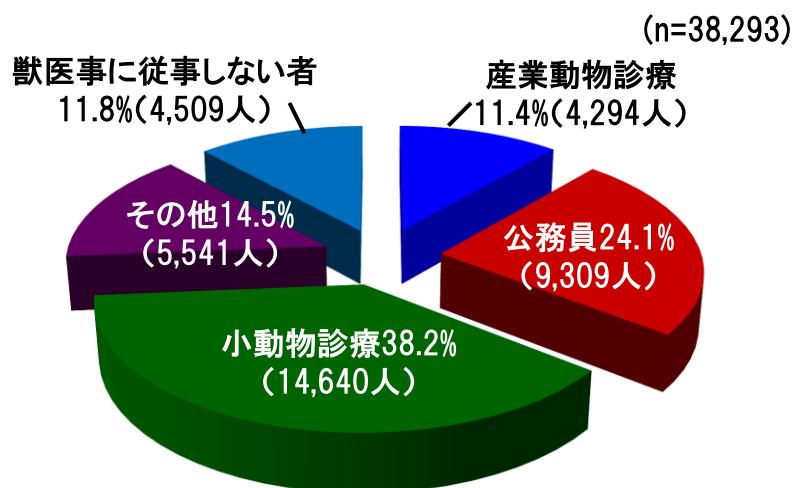
公務員女性獣医師の就業現場の現状と課題

茨城県県西家畜保健衛生所
前田 育子

公務員獣医師の主な仕事

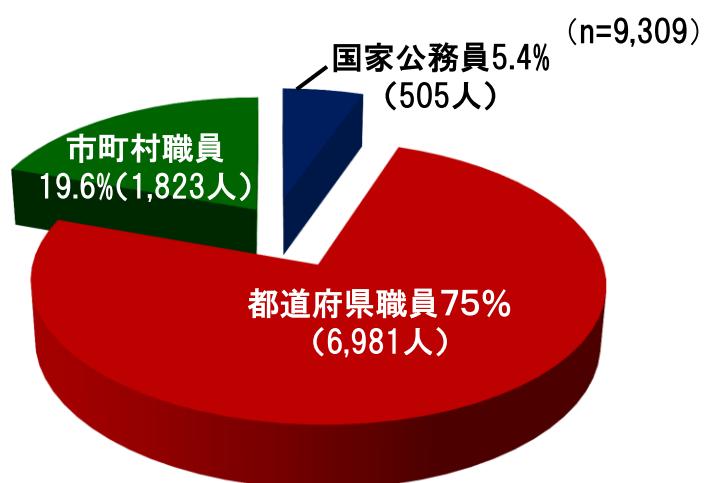
- 家畜伝染病の予防・まん延防止
- 人獣共通感染症対策
- 食肉の安全確保のための食肉検査
- 食品衛生監視・指導
- 狂犬病の予防
- 動物愛護管理や福祉の推進





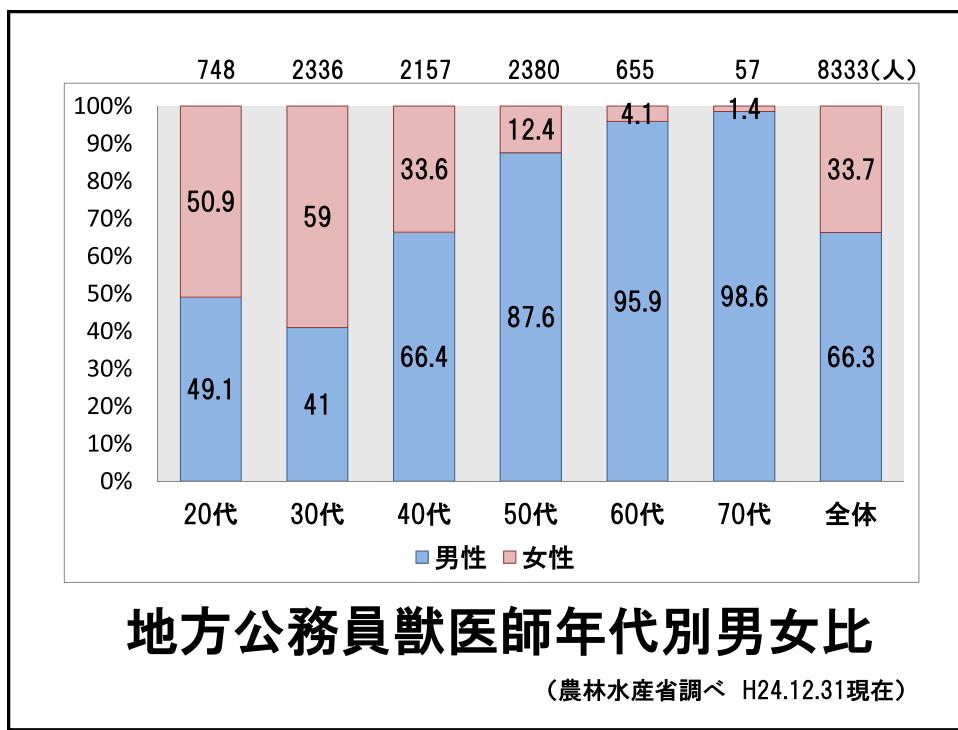
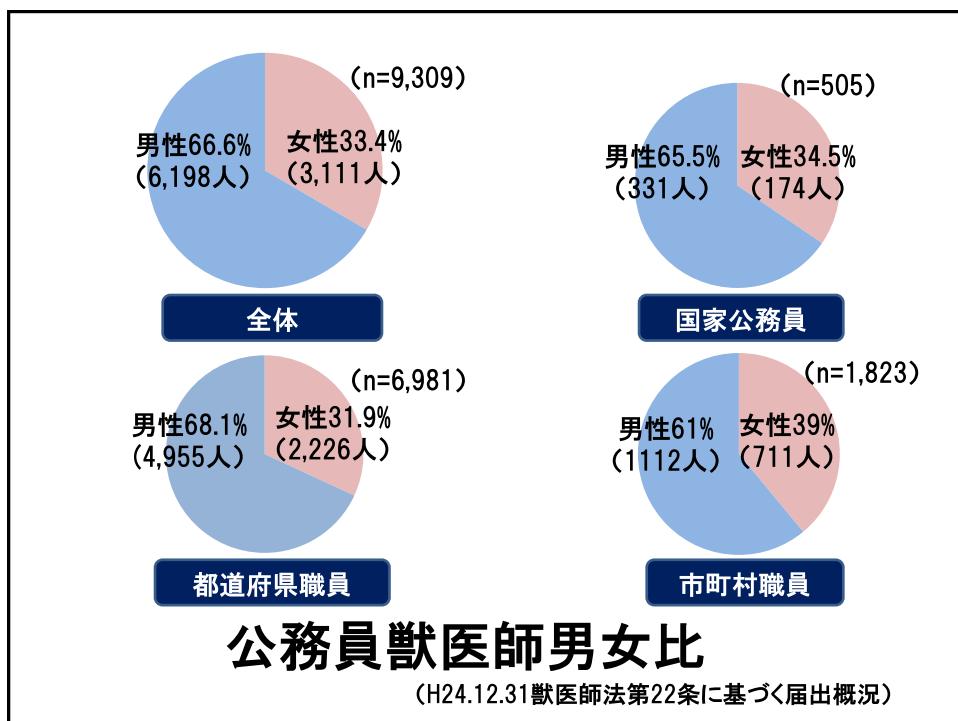
獣医師職域別構成比

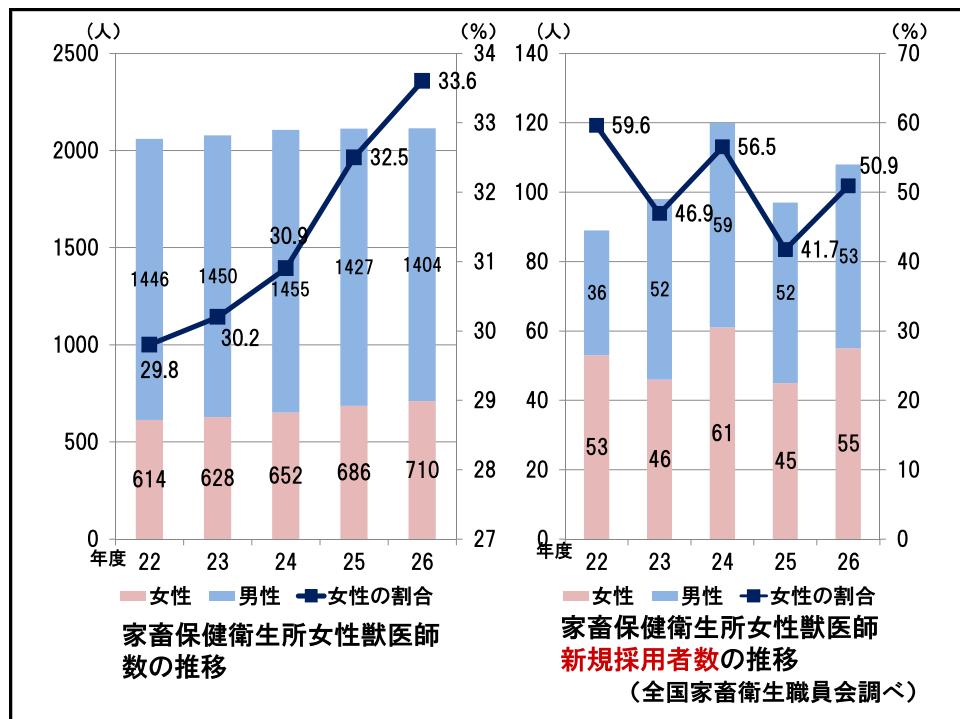
(H24.12.31獣医師法第22条に基づく届出概況)



公務員獣医師の内訳

(H24.12.31獣医師法第22条に基づく届出概況)





女性獣医師の就業等に関する現況調査

【調査目的】

女性獣医師の就業環境や必要とする就業支援の全国規模の実態調査を実施し、女性獣医師の抱える課題等の分析を行い、女性獣医師の支援を具体的かつ実効性のあるものとするための基礎資料を作成し、今後の女性獣医師就業支援対策等に反映させる。

【調査方法】

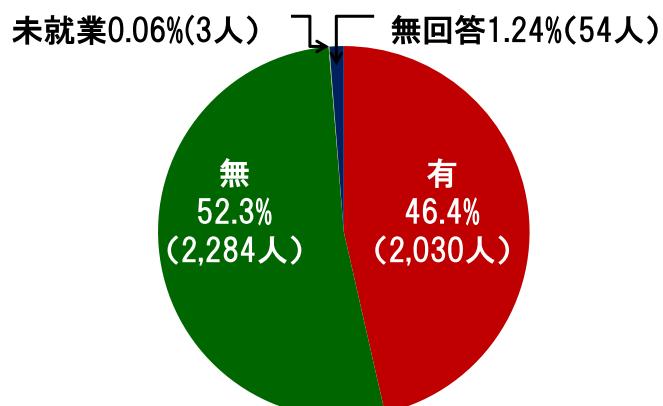
- (1)調査期間:平成26年1月17日～2月16日
- (2)調査方式:インターネットアンケート
- (3)調査対象:全国の調査に協力した獣医師

【回答者】

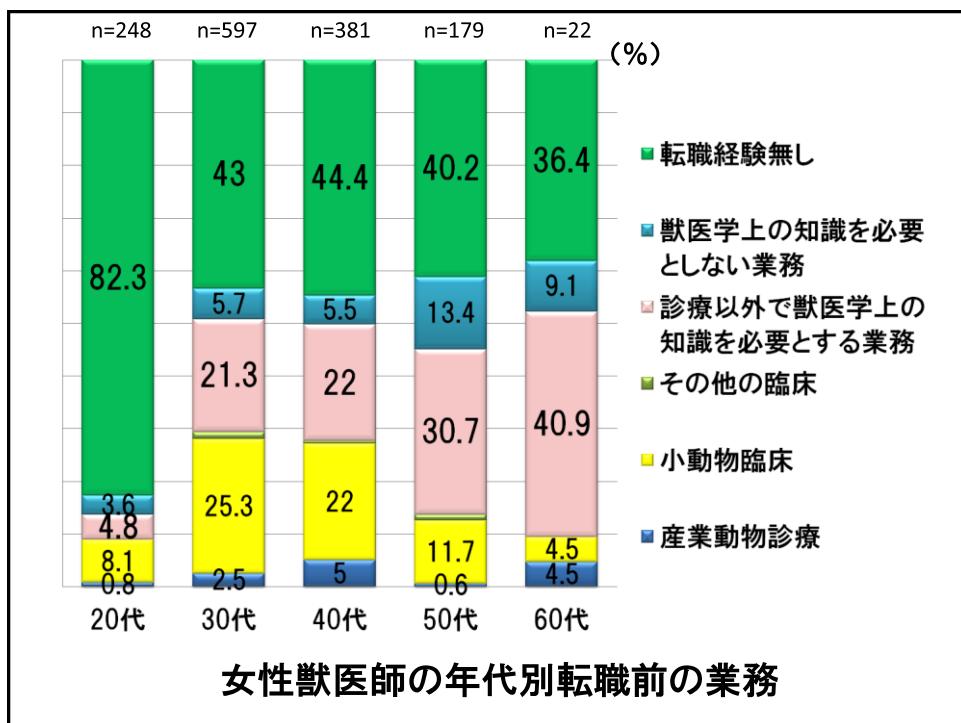
- (1)全回答者数:4,371名
 - 女性獣医師 1,429名(33%)
 - 男性獣医師 2,923名(67%)
 - 無回答19名
- (2)公務員女性獣医師の回答者数:846名※
※全公務員女性獣医師3,111人の27.2%

あなたは、現在の仕事以前に、他の仕事に就いた事が
ありますか？

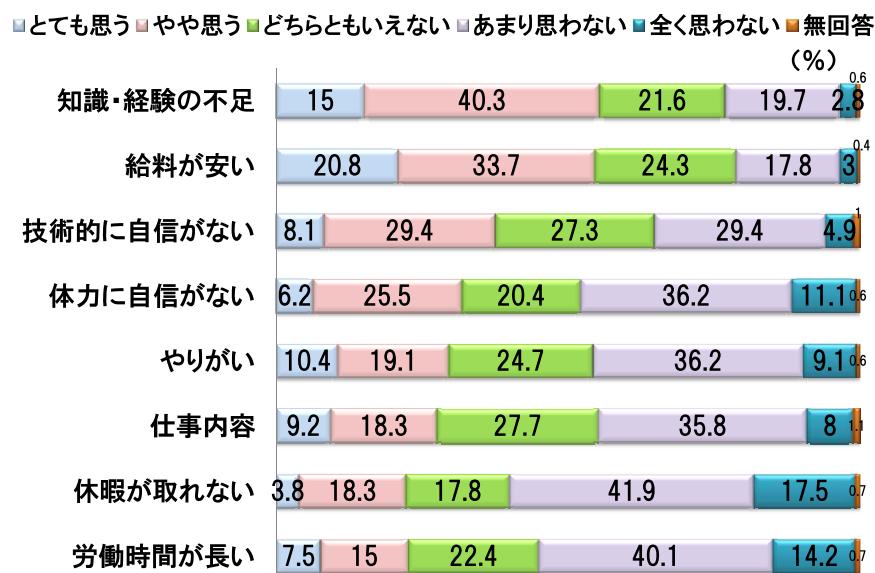
(n=4371)



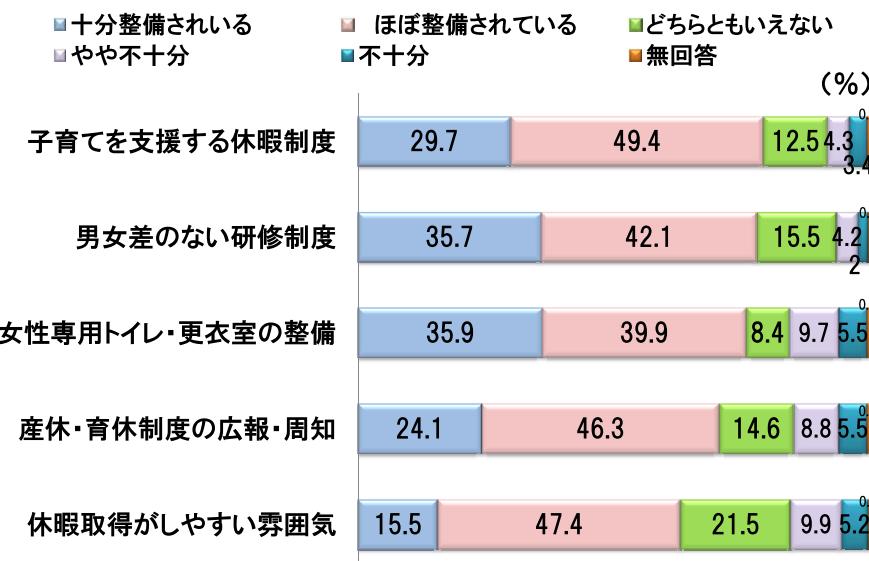
転職経験者の前勤務先			回答者全員の現勤務先		
転職前の勤務先	人数	%	現在の勤務先	人数	%
個人診療施設	590	29.1	個人診療施設	590	13.7
農業協同組合	50	2.5	農業協同組合	35	0.8
農業共済組合等	129	6.4	農業共済組合等	378	8.8
国	76	3.7	国	170	3.9
都道府県	518	25.5	都道府県	2003	46.4
市町村	114	5.6	市町村	352	8.2
民間企業	301	14.8	民間企業	400	9.3
その他	224	11	その他	390	9
無回答	28	1.4	無回答	1	0.02
計	2030	100	計	4319	100.12



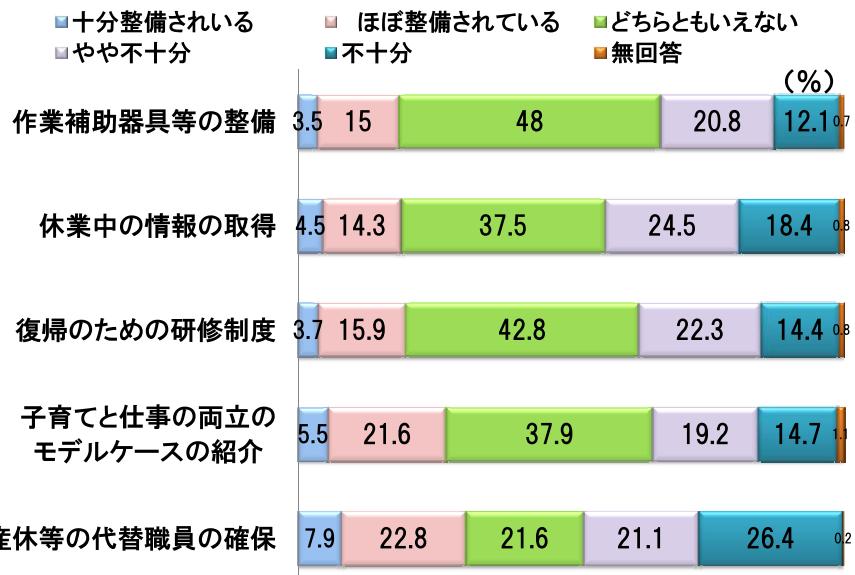
公務員女性獣医師が抱えている不安



公務員女性獣医師の就業支援の実感度



公務員女性獣医師の就業支援の実感度

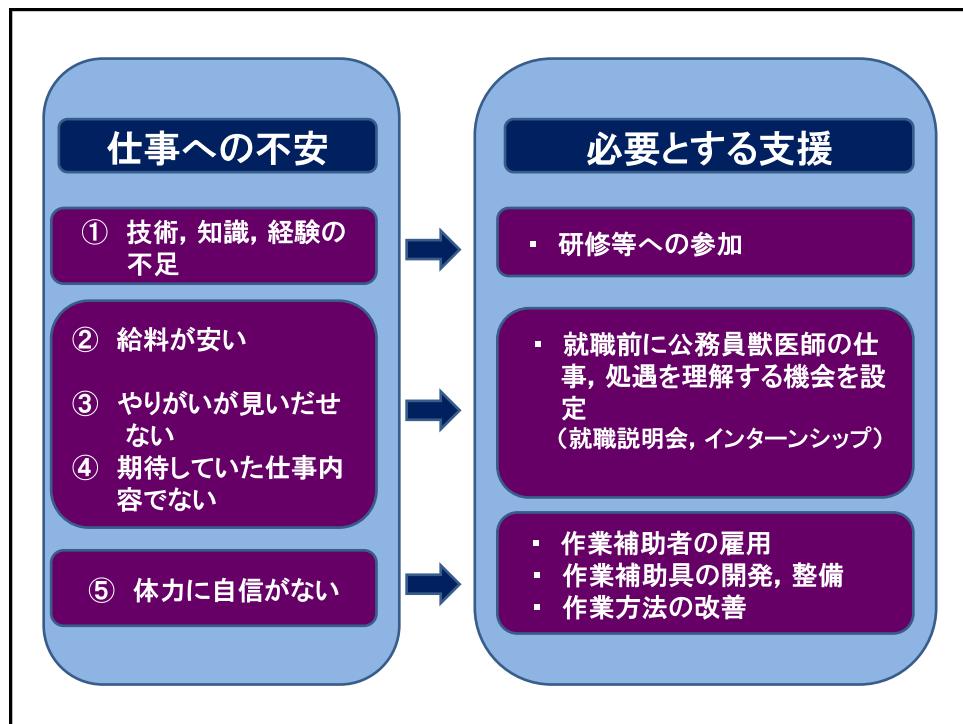


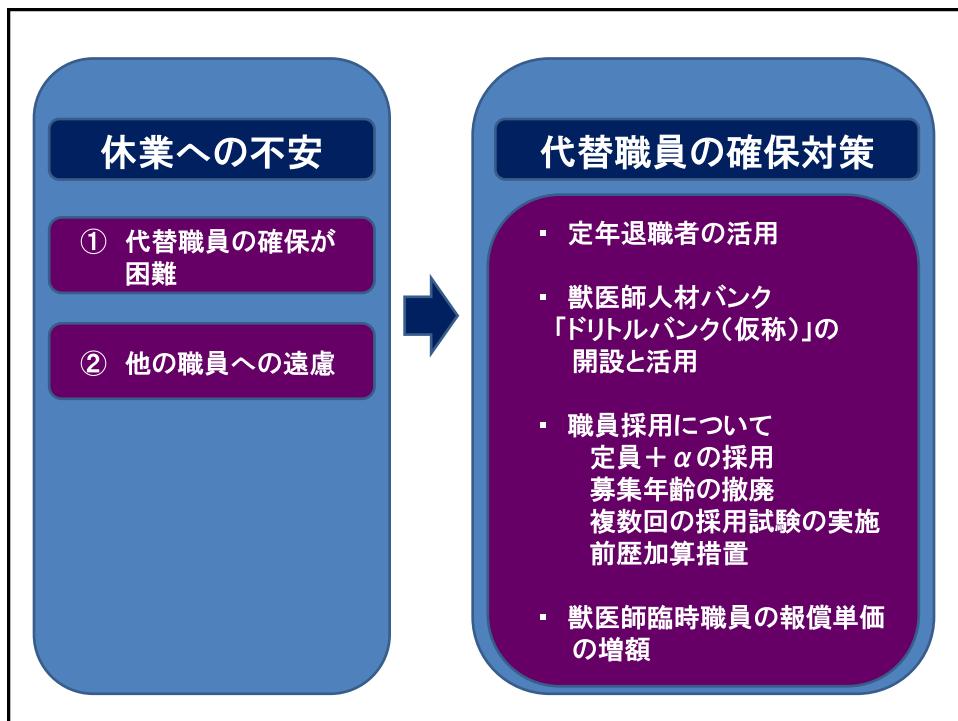
公務員女性獣医師の抱えている不安

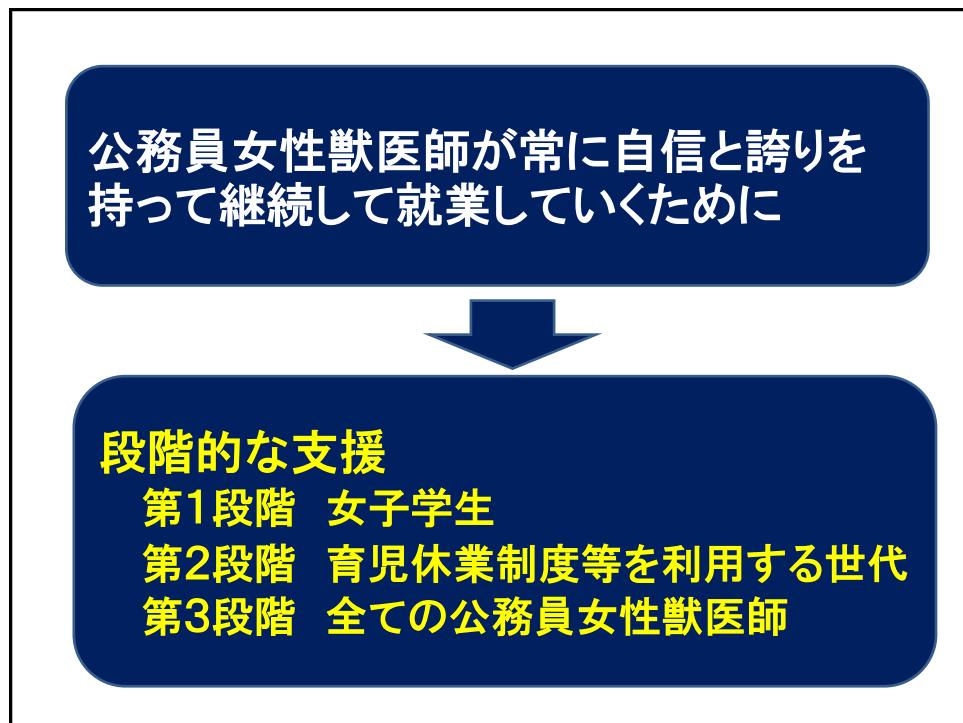
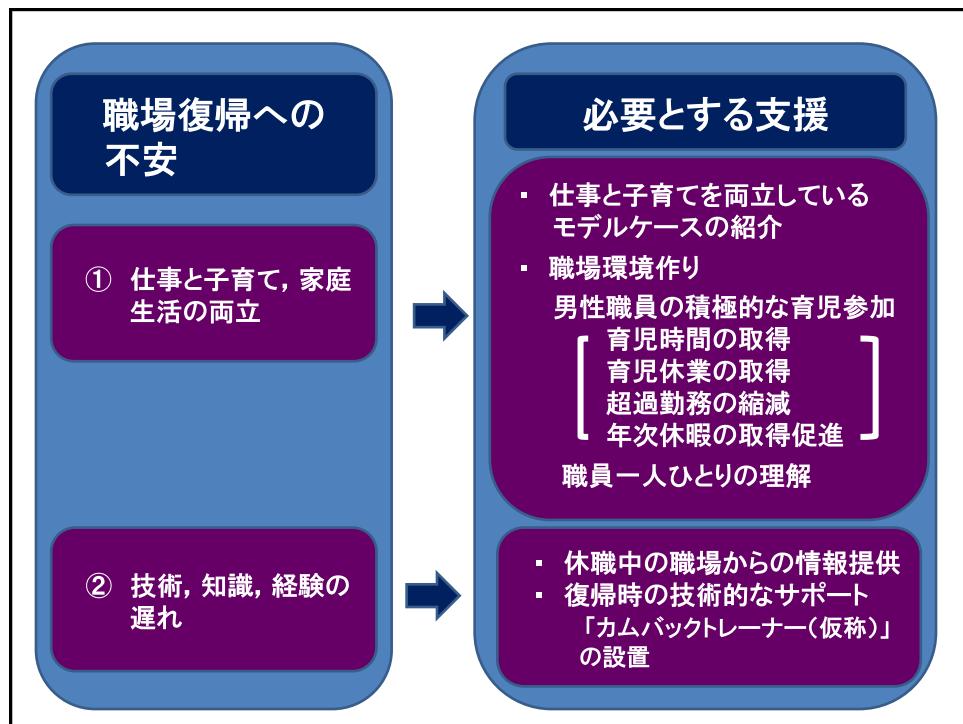
- 仕事への不安
- 休業への不安
- 職場復帰への不安



公務員女性獣医師が必要とする支援







第1段階：女子学生
公務員獣医師の仕事の理解と処遇情報の取得

【対応策】

- ① 公務員女性獣医師による女子学生のための就職説明会の開催
- ② インターンシップで公務員女性獣医師と女子学生の女子会の開催
- ③ 大学での獣医行政学の講義



- 公務員獣医師の仕事、就業現場の現状の理解を深めたうえでの進路の選択
- 公務員獣医師の仕事の重要性、やりがい、責任感を持ったうえでの進路選択により就業が継続

第2段階：育児休業制度等を利用する世代
やる気の持続と周囲（職場上司、同僚、家族）のサポート

【対応策】

- ① 配属、仕事の配分、評価、昇進、研修の機会の平等
- ② 押しつけでないサポート
始めから残業、出張を組まないのではなく、どうしても融通がつかない場合にサポートする職場の雰囲気作り



- 職場で必要とされている実感、社会との関わりを持っている実感で離職率は低下

**第3段階：全ての公務員女性獣医師
(そして、後に続く後輩女性獣医師のために)**

【対応策】

- ① 管理職の育成
- ② 国民の獣医師の仕事に対する理解の醸成
- ③ 獣医師の社会的地位の向上
- ④ 公務員獣医師の待遇の改善



- 公務員女性獣医師が常に自信と誇りを持って
継続就業

社会に対しての発信

